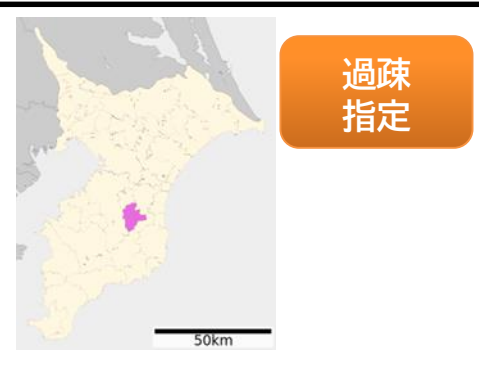


事業実施と地域公共交通計画との関連について

【地域内フィーダー】

令和8年1月19日

協議会名：	長南町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	長南町地域公共交通計画は町民の生活環境の向上及びまちの活性化に資する地域公共交通網の実現を基本理念とし、地域の実情に即した公共交通網の構築を図っている。 デマンド乗り合いタクシーは、公共交通空白地解消のためだけでなく、高齢者、障害者などの移動を支援する補完軸であり、通院、買い物、バス停留所(路線バス)への乗り継ぎの移動に対応し、他の交通モードの利便性も高めている。公共交通確保維持改善事業を活用し、デマンド乗り合いタクシーを存続させていくことが必要である。



地域の公共交通等の現況・課題／補助対象系統の位置付け

路線バス、高速バス、デマンド乗合タクシー、タクシーの公共交通手段と福祉タクシー事業により、移動手段を確保している。町では、人口減少が加速し、路線バスの利用者が減少傾向にあり、廃止や減便が起こっている。しかしながら、高齢ドライバーの免許返納は増加しているため、デマンド乗合タクシーは、高齢者の重要な交通手段となっている。

補助対象系統の需要・現況・課題／活用したデータ

デマンド乗合タクシーは町内全域を運行し、買い物や通院等に利用されており、令和7年12月末現在では978名の利用登録者がある。乗合率が低いのが課題である。
活用しているデータ：利用者登録表、各月ごとの集計表

定量的な目標

- ・年間利用者数 10,000人
- ・年間乗合利用率 1.2%

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況／来年度に向けた取組の検討

R7年度も現状、安定した利用者を維持しているため、効率的な運行形態やサービス内容の見直しを図る検討が今後必要となる。

アピールポイント

- ・利用登録された方へ利用方法を簡潔にまとめた案内を作成し送付している。
- ・ペア割制度を引き続き導入し、利用促進を図っている。

面 積	65.51 km ²
人口（R7.4.1時点）	7,002 人
15歳未満	472 人
65歳以上	3,305 人
高 齢 化 率	47.20 %

交通計画の計画期間

令和5年4月～
令和9年3月

協議会開催状況

- (令和7事業年度に係るもの)
- ・第1回(令和7年6月19日)
 - (1) 役員の選任について
 - (2) 令和6年度予算専決処分
 - (3) 令和7年度予算案について
 - (4) 令和8年度長南町地域公共交通計画別紙について
 - (5) 令和6年度長南町地域公共交通計画の評価について
 - (6) 長南町地域公共交通計画の目標達成のための施策について
 - ・第2回(書面開催)
 - (1) 令和6年度長南町地域公共交通活性化協議会決算認定について
 - ・第3回(令和8年1月19日)
 - (1) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
 - (2) 長南町地域公共交通計画の目標達成のための施策について
 - (3) その他

資料3

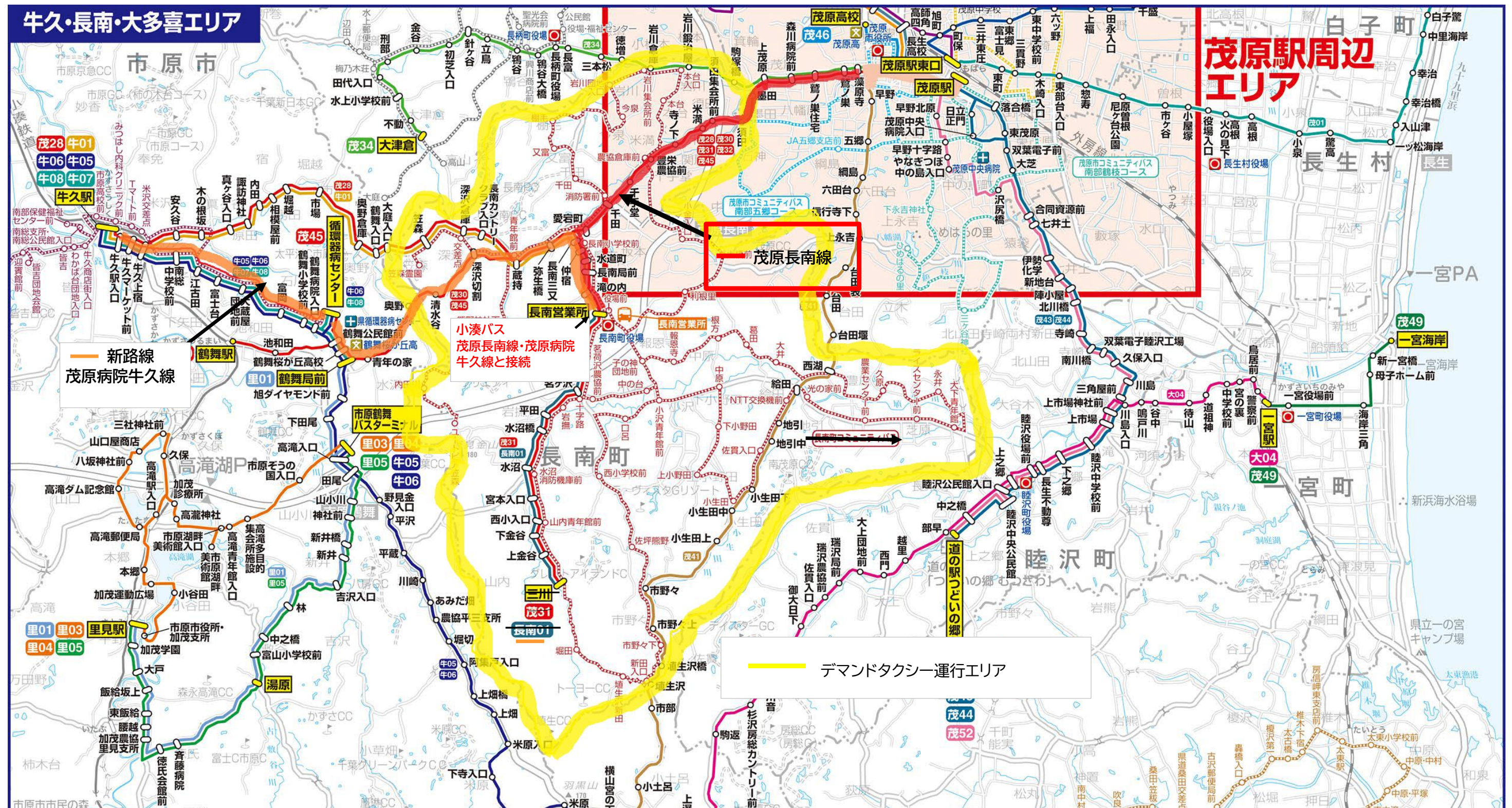
長南町 男女・年齢別人口数一覧表

令和7年4月1日時点

年齢	男	女	計
100～	1	9	10
95～99	18	61	79
90～94	61	149	210
85～89	147	238	385
80～84	217	232	449
75～79	348	346	694
70～74	409	401	810
65～69	333	335	668
60～64	248	244	492
55～59	242	219	461
50～54	237	210	447
45～49	186	176	362
40～44	197	155	352
35～39	148	122	270
30～34	109	125	234
25～29	103	69	172
20～24	114	99	213
15～19	128	94	222
10～14	94	100	194
5～9	100	71	171
0～4	62	45	107
	3,502	3,500	7,002

総人口	7,002
高齢化率	47.20%

	男	女	計
40～64	1,110	1,004	2,114
65以上	1,534	1,771	3,305
うち75以上	792	1,035	1,827



資料5

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

【地域間幹線】

令和8年1月19日

協議会名: 長南町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
小湊鉄道(株) 茂原長南線	茂原駅南口～長南～長南南営 業所	ホームページ、広報等に路線 バスの利用を促す記事を掲載 した。	A	計画通り事業は適切に実施 されている。	A 【目標】収支率を1%改善させ る。(R6年度収支率50.3%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は 6.8%改善し57.1%となった。 【目標の達成状況の要因(分 析)】 沿線の学校の通学利用は増 加し、前年度と比べて3,148人 乗車人数が増えているため。	・通学需要や観光需要の把握 に努め、より鉄道に接続しやす ダイヤ改正を検討する。

協議会名・補助対象事業者名

長南町地域公共交通活性化協議会
小湊鉄道株式会社

系統名

茂原長南線

事業の目的・必要性

- 長生高校・茂原高校等沿線学校への通学
- 鉄道駅である茂原駅への移動手段

事業の概要・目標・効果

- 路線名 茂原長南線
- 起点、経由地、終点 茂原駅南口～長南営業所
- 系統キロ 10.2km
- 運行回数 7.6回／日(平日8.0回、土日7.0回)
- 目標・効果 令和6年度と比較して収支率1%以上改善
- 利用促進・生産性向上の取り組み
ホームページ・広報等に路線バスの利用を促す記事を掲載

●直近3ヶ年の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
輸送人員(人)	46,763	48,934	52,082
経常収支(円)	▲7,774,806	▲8,477,972	▲11,633,999
収支率(%)	52.4	50.3	57.1
平均乗車密度(人)	2.0	2.4	4.1
補助金額(千円)	1,007	1,016	1,491.5

目標・効果の達成状況

【達成状況】
前年度と比べて、収支率は6.8%改善した。
【目標の達成状況の要因(分析)】
沿線の学校の通学利用は増加し、前年度と比べて3,148人乗車人数が増えているため。

今後の改善点

・通学需要や観光需要の把握に努め、より鉄道に接続しやすいダイヤ改正を検討する。

長生分科会継続協議 小湊鉄道(株) 茂原長南線



系統概要 (R6.10.1～R7.9.30)				
キロ程	平均運行回数	輸送量	経常収支	収支率
10.2km	7.6回/日	31.1	▲11,633千円	57.12%

資料7

長南町地域公共交通計画の目標達成のための施策について

本町の地域公共交通の利便性を高めるため、施策を検討します。

1. 施策内容

施策①－③（長南町地域公共交通計画 8 2 頁）

大人用三輪自転車等の購入補助の導入検討

運転免許返納者、マイカーを所有していない高齢者の移動支援として、大人用三輪自転車（シニアカー）等の購入費用の一部を補助する制度の導入について検討する。

【検討結果】

委員の皆様からのご意見なし。

長南町は生活圏が広域で移動距離が長く、シニアカーの航続可能距離では電欠のリスクを払拭しきれないことに加え、道幅の狭さや急勾配の坂道、交通危険箇所の多さといった地形的制約、さらには専用駐輪場の整備に要する負担などの課題を総合的に勘案し、安全かつ実効性のある運用が困難であり、デマンドタクシーを利用したほうが現状に沿っているため、導入は見送る。

2. 施策内容

施策 4－①（長南町地域公共交通計画 8 5 頁）

観光タクシーの導入検討

ゴールデンウィーク、夏休み、紅葉シーズン等の観光シーズンに特化し、観光来訪者の町内移動をサポートするためのサービスとして、観光タクシーの導入検討を行います。具体的には、事前予約制で役場から出発、最大〇時間の貸し切り利用で〇円、と利用者にとってもメリットのある運行内容を検討し、業者との協議を踏まえ、導入の検討を行う。

【検討結果】

委員の皆様からのご意見なし。

町外からの観光客の移動手段や町の PR を目的として導入を検討したが、導

入にあたって観光スポット数や観光施設の受け入れ態勢等を考慮し、導入は見送る。今後、直売所交流施設の建設や山内ダムの整備が予定されていることから、そのタイミングで必要であるとの意見があれば再度検討する。

3. 施策内容

施策5－①（長南町地域公共交通計画87頁）

【具体策】

地域における輸送資源の活用に係る現状把握、調査研究

交通事業者が所有する遊休車両や、日中時に使用していない医療・福祉施設等の送迎車を町内の公共交通に活用することを想定し、地域における輸送資源の活用について現状把握、調査研究を行います。

【検討結果】

委員の皆様からのご意見なし。

本施策については検討した結果、法的な安全管理責任の所在や協力施設の乗務員確保といった運用上の課題が多いため、医療・福祉施設等の送迎車を町内の公共交通に活用することは困難である。

地域における輸送資源の活用について現状把握や調査研究については、直売所交流施設の建設をはじめとする今後のまちづくりの動向を注視した上で、実施時期の検討を行う。

令和7年度 第3回長南町地域公共交通活性化協議会 意見書

○令和8年4月からのデマンドタクシー運行について

今後のデマンドタクシー運行について、委員の皆様のご意見を記入お願い致します。

☐ 有限会社長南タクシーによる2台運行

☐ その他

長南町地域公共交通活性化協議会委員

氏名

※署名をお願いします